

新型コロナウイルス感染症 自宅療養者の健康観察について

R3.9北海道保健福祉部

趣旨

- 自宅療養者（入院及び宿泊療養入所の待機を含む）の状態悪化を早期に探知し、必要な患者を早期の医療調整につなげる。
- 患者のリスク因子、状態に応じてリスク分類を行い、ハイリスク者については対応をカンファレンスで決定する。

リスク分類と対応

強い症状※2	リスク因子※1	あり	なし
	あり		A
なし		B	C

※1 基礎疾患、高齢者、肥満 等

※2 SpO2<95%、38.5℃以上の発熱、著しい食欲低下 等

リスク	対応
A	2回健康観察、カンファレンスで医療調整の検討
B	1回健康観察、要注意者は2回+カンファレンスで検討
C	毎日の健康観察のみ

医療調整の方針

症状	対応方針
SpO2低下 (<95%)	原則入院調整
高熱の持続	38.5℃以上が3日間継続で受診・入院検討
著しい食欲低下	摂食1/3以下が3日間持続で受診・入院検討

注意が必要なポイント

- 発症日からの経過を一覧で管理する（**症状の継続**を着実に把握）
- 発熱は**その日の最高体温**を必ず確認
- 若年者も**高熱・脱水**が継続すると入院が必要